

管理所レビュー VOL.07

(R1.7.4 水源林管理所)

今年度の第7回となるボランティア活動が、6月22日(土)に実施されました。

夜半から降りだした雨は、朝方まで時より強く降り、日中も降ったり止んだりの天気となったため、杭作りの実施となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

7月に入り、梅雨前線や台風、線状降水帯などの影響により、各地で大雨が観測されています。特に九州では線状降水帯の発生による大規模な災害が発生しています。線状降水帯のメカニズムは良く分かっておらず、予測が難しいそうです。今後も天気に関する情報に注意していきましょう！

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 67名のご参加、ありがとうございました！



暗い雲が立ち込めています。



杭作りでも準備運動をしっかりと。



山の天気は変わりやすい。

2 当日の作業の様子

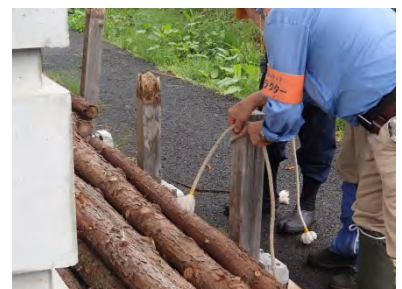
【杭作りの様子】



【9班(チェーンソー)班の様子】



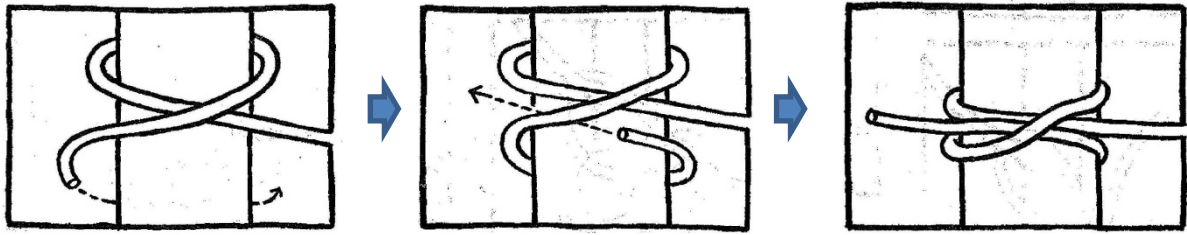
【ロープワークの様子】



3 実践しましょう。・・・「巻き結び」

今回のロープワークで実習した、簡単に結べて、ロープが緩みにくい「巻き結び」を実践しましょう。

「巻き結び」は、玉切り後の材の運搬に適しています。特に大径木の玉切り材の運搬時にロープが緩むと大変危険です。安全のためにも「巻き結び」を実践しましょう。



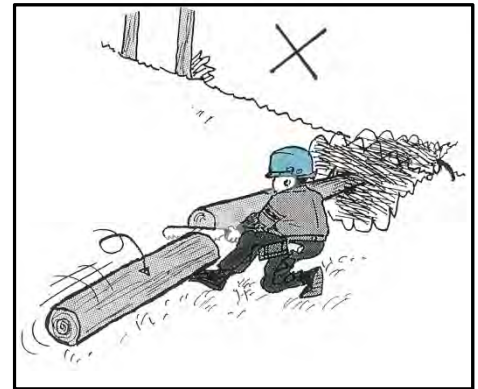
4 玉切り作業時の注意事項について

(1) 玉切り作業は斜面上部から

玉切りの際、斜面の下部で作業していると材が切離された瞬間に転がり、足の上ののったり、当たったりするため危険です。

玉切り作業を行う時は、斜面上部で行い、足を材の下に入れないようにしてください。特に重量のある材の切離し時は、必ず斜面上部で作業してください。

また、材の状態をよく観察し、切離した材の動きによって危険が生じないように、ロープなどで材が動かないようにしてください。



(2) 同一の材を同時に玉切りしない

2人以上で同一の材を同時に玉切りを進めるとノコギリが挟まれたり、切り難くなったりするので注意が必要です。

時間短縮のため、同時作業になる場合がありますが、作業同士で声を掛け合い、同時作業の時間を出来る限り短くし、材の動きや切離した状態がどうなるか予想し、道具の破損や事故が起きないように注意して作業してください。



(3) 上下作業をしない

斜面で作業を行なう場合、必ず作業者の位置が上下にならないようにしてください。

玉切り材が転がったり、浮石や木片が転がり落ちたりして危険です。

上下作業になりそうな場合は、作業同士で声を掛け合い、作業の進捗の調整をしてください。

また、当該作業（上下の作業）が気が付かないような場合は、周囲の作業者が注意喚起の声かけをしてください。



(「伐木造材作業者必携」より一部抜粋)

※ 7月6日(土)は、雨のち曇り、最高気温23度、降水確率60%の予報となっています。

★それでは7月6日、気をつけてお越しください。